



杉並区立中央図書館

シリーズ第7回は令和2年9月にリニューアルオープンした杉並区立中央図書館です。
親しまれてきたデザイン性の高い外観はそのまま残し、内部レイアウトの変更を行った人気の図書館です。

杉並区立図書館のサービス基本方針は「図書館から広がる知と対話～学びの場・知の共同体・楽しい交流空間～」ちょっと難しくそうですが、実はとてもワクワクして親しみのある愛すべき空間なのです。本を借りて読むだけでは終わらない魅力に出会う、地域住民の憩いの場。館内から眺める景色、様々なスペース、特別なコレクション、知と安らぎのワンダーランドをのぞいてみましょう！

中央図書館は閑静な住宅街にあり、全国でも珍しい図書館と一体となった「読書の森公園」があり、本を借りて公園で読書をする姿も見られます。区内の図書館の中、約70万冊と最も蔵書数が多く地域資料や参考図書も取り揃えています。

★1階フロア

1階エントランスロビーに入ると、一般書コーナーや展示コーナーがあり、ズラッと並んだ本棚や、高い天井からガラス張りの閲覧席が広がり、木々の緑と陽光に心が落ち着きます。窓からは外が感じられ、明るく開放的な空間で好きな本が読めます。



一般展示コーナーに進むと「本の福袋」がたくさん並んでいました。1月（取材時）は新年の始まりに一步踏み出したくなる本を集めた福袋。スタッフが自分のお薦めの本を2～3冊選び、説明タグを付けました。さてどんな本との出会いがあるかは開けてのお楽しみです。



晴れた日は1階のカフェコーナーを通過して本の広場やテラスに出てもよし、読書の森公園を結ぶ木道で木漏れ日と風を感じて読書をしながらリフレッシュするもよし。

軽食やドリンクを楽しみながらソファで読書ができるカフェコーナーも大人気。時間を気にすることなくゆったりくつろげる空間です。

調べもの相談（レファレンス）カウンターでは、図書館司書が質問に対応してくれて、とても頼りになります。

★2階フロア

2階に上がると10代の中学生・高校生世代向けには、小説や進路、職業など様々なジャンルの本を集めたYA（ヤングアダルト）ルームがあります。自由に滞在でき、放課後は賑わいます。悩める10代にとって学校や家庭以外の居場所として安らげる部屋です。取材時の展示は「音楽と青春」。10代で聴いていた音楽は歳を重ねても心に残ります。音楽の魅力を読書でも感じられる音楽がテーマの小説や、音楽をもっと知るための本が集められています。

YAルームの隣は児童書フロアです。子どもの本コーナーでは、絵本や読み物、紙芝居等を揃え、おはなし会（毎週水曜日午後3時30分から）や工作会などの行事も開催。



乳幼児連れでも、子どもの泣き声など気兼ねすることなく一緒にゆったり利用できるよう、スタッフとボランティアがサポートして「赤ちゃんタイム」（毎週火曜日・午前10時30分～12時）を設けています。その中では、あかちゃんおはなし会も開催。



乳幼児コーナーには、給湯器、授乳室、おむつ交換台、乳幼児トイレが完備されています。

図書館には常に新刊が入ってきます。出版待ちの本たちが皆さんを待っています。

そのほか定期的に映画会、こども映画会、展示などの行事や催しを行っています。

多くのスタッフが支える図書館、利用は全て無料（カフェは有料）、至れり尽くせりの図書館。

これだけの充実サービスを無料で使えるのはすごい！使わなきゃもったいない。図書館に行きましょう！

杉並区立中央図書館

交通：荻窪駅南口から徒歩10分

住所：〒167-0051 杉並区荻窪3-40-23 ☎03-3391-5754

休館日：毎月第1、第3木曜日、年末年始（12月31日～1月4日）

特別整理期間（別途お知らせします）